

5年生(日常の風景)



写真は加工して掲載しています

5年生の教室です。5年生はどの子も学びからそれることなく、みんなが意欲を持って学びに向かうことができるよう授業が進められていました。

学びにとって何よりも大切なのは、なかまの力です。人は一人で学んでいるのではありません。人はなかまとともに学ぶからこそ伸びるのです。自分の考えを何とか伝えようと知恵をしぼること、友だちの考えを何とか理解しようと考えを巡らせることで、頭の中がぐるぐると回転し脳が活発に動き回るので、アクティブラーニングという言葉がありますが、それは子どもが動き回って活動的に学ぶという意味ではなく、主体的な（意欲を持って）対話によって、頭の中がフル回転する学びということです。漢字の書き取りも繰り返し計算ももちろん大切ですが、学習を単なる作業のみに終わらせ思考を止めてしまっってはいけません。ペアで考え合うこと、グループで考えを聴き合うことで、考えを広げたり深めたりしながら、同時になかまの存在を認め、なかまを大切に思うことにつなげていきます。

安心感と自分の居場所を確かめながらこの日も学んでいました。



写真は加工して掲載しています



写真は加工して掲載しています



写真は加工して掲載しています



図工で自分の下靴をデッサンし、彩色していきます。細かな部分までしっかり見つめながら一生懸命描いています。



写真は加工して掲載しています



写真は加工して掲載しています

6月24・25日（木・金）は曾爾野外活動に出かけます。この日に向けて、日々意識を高めながら学習を進めていきます。先日、自分の役割を決めました。今日は2日間の流れについて説明を聞きました。今からワクワクがとまりません。つつい心の声が飛び出してしまう。その都度、「静かに聞きましょう。」「静かにし続けましょう。」ということ相互に注意しあいますが、なかなか気持ちをおえることが難しいようです。でも相互の気づきを成長への築きとして積み上げ、この活動を通して、「自律、連帯、友情、協力、責任」等、体全体で感じ、ひとまわりもふたまわりも大きく成長してくれることを期待しています。

